

■中村憲吉 歌人。澄明で気品の高い独自の歌境を樹立し、写生説発展に寄与した。

なかむらけんきち

帝国憲法発布1889＝ 広島県双三郡で、中村修一・アキの子に生まれる。

日清戦争始・1894＝ 5歳：布野尋常小学校に入学。

子規句歌革新1898＝ 9歳：卒業し、同校高等科に進む。

ビア国産化・1900＝11歳：祖母の異父妹香川八重の養子となり、三次小学校高等科に転校。

田中正造直訴1901＝12歳：卒業し、県立三次中学校に入学。

日露戦争終・1905＝16歳：

満鉄発足・・・1906＝17歳：卒業。上京して正則英語学校に通学後、鹿児島第七高等学校第一部甲類に入学。

韓国反日暴動1907＝18歳： 文学の友になった堀内卓造のすすめで、作歌を始め、アヲキ創刊・1908＝19歳： 新聞{日本}の伊藤左千夫選歌に投稿して採用され、一部が{アララギ}に掲載されたことから、

伊藤博文暗殺1909＝20歳： *上京し、入門。以後{アララギ}の有力新進として活躍。

韓国併合・・・1910＝21歳：七高を卒業し、東京帝国大学法科大学経済科に進学。堀内が死去。

大逆事件判決1911＝22歳： _{アララギ}諸同人との交流が深まり、

明治天皇没・1912＝23歳：

大正政変・・・1913＝24歳：伊藤左千夫が死去。 *島木赤彦との合著「馬鈴薯の花」を刊行。

21ヶ条要求・1915＝26歳：卒業。帰郷して、結婚。

民本主義・・・1916＝27歳：上京し、_第二歌集「林泉集」を刊行。帰郷して家業(醸造)に従うが、

大暴落・・・1920＝31歳：兵庫県西宮に居を構え、

原敬首相暗殺1921＝32歳： _{大阪毎日新聞}に入社、経済部記者として勤務。

護憲三派圧勝1924＝35歳： _第三歌集「しがらみ」を刊行。

治安維持法・1925＝36歳：

円本時代始・1926＝37歳： _退社し、帰郷して再び家業に就く。

海軍軍縮条約1930＝41歳： *{現代短歌全集}の「中村憲吉集」が刊行される。以後、胸を病み転地療養につとめ、

満州事変・・・1931＝42歳： _第四歌集「軽雷集」を刊行。

帝人疑獄事件1934＝45歳：尾道の仮寓で、_没した。

遺歌集「軽雷集以後」。そのほか歌論、随筆、研究などがある。